

(13)

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

# ひまわり寮にアルバム寄贈

## エコ和歌山と紀陽銀行

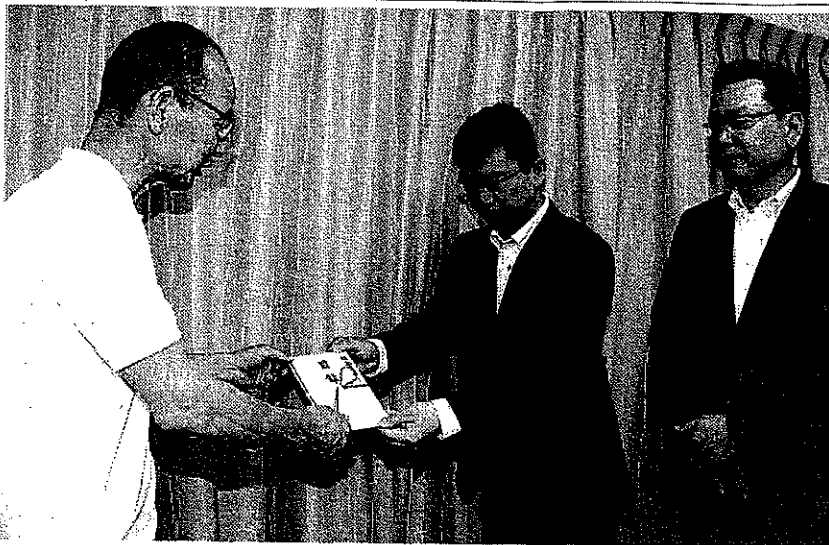
エコ和歌山(田辺市稲成町)と紀陽銀行(本社・和歌山市)はこのほど、田辺市城山台の児童養護施設「ひまわり寮」に、写真を入れるアルバムとUSBメモリーを30個ずつ寄贈した。施設は子どもたちが施設を卒所する際に受け取る記念品として活用するという。

紀陽銀行が地域の企業と取り組んでいる社会貢献活動「紀陽CSR私募債」私募債の発行企業から受け取る手数料の一部を、企業が選んだ福祉施設などに寄贈している。

ひまわり寮では現在、317歳の31人が生活している。エコ和歌山の中田祐史代表取締役(47)は子どもたちの役に立ちたいと、施設から要望を聞いてアルバムとUSBメモリーを贈った。

贈呈式では、中田代表取締役や紀陽銀行田辺支店の朝本

悦宏支店長(右)らがひまわり寮を訪問。川口則光寮長(左)に目録を手渡した。



ひまわり寮の川口則光寮長(左)に目録を手渡す、エコ和歌山の中田祐史代表取締役(中央)と紀陽銀行田辺支店の朝本悦宏支店長  
—田辺市城山台で

中田代表取締役は「地域貢献は会社の役目だと思っております、今回は良い機会だと感じています。川口寮長は「施設や子どもたちに対して理解していただき、支援を頂いていることをありがたく思う」と感謝を述べた。